

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	スノーボード実習B	
<b>科目基礎情報</b>					
開設学科	スポーツ健康学科三年制	コース名	サッカーコース	開設期	後期
対象年次	2年次	科目区分	選択	時間数	30時間
単位数	1単位	授業形態	実習		
教科書/教材	特になし				
<b>担当教員情報</b>					
担当教員	志鷹慎吾	実務経験の有無・職種	有・スノーボードインストラクター		
<b>学習目的</b>					
<p>冬の代表的なスノースポーツの一つであるスノーボード実習を行うことによって基礎的技術や指導方法・安全対策などを身に付け、そして冬山における自然環境の厳しさ、マナーや事故防止についての知識や行動を実際の体験から習得します。また、集団生活を通して学生同士の協力、各自に与えられた役割を果たすことによって、集団の中の一員として自覚を持った行動・生活等、そして適正な社会性を身に付けます。</p>					
<b>到達目標</b>					
<p>各個人の技量にあった技術レベルで、自ら危険を判断して回避できる能力を身に付けます。冬山におけるマナーなど実際に体験をし、雪質を含む斜面状況や気象変化、他のスキーヤー、スノーボーダーの位置、速度に対する危険予知能力を高め、自然の中でスノースポーツを安全に楽しむことを学びます。また、集団生活をするにより、学生同士の連帯感や自己責任を果たすことで人間力の向上を図り、社会人として必要な知識を習得します。</p>					
<b>教育方法等</b>					
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レベルが同一のグループに分かれて、各自バジテスト1～5級の取得を目指します。</li> <li>・技能レベルの取得のみならず、自然との触れ合いや集団行動など、社会人として必要なスキルを包括的に学びます。</li> </ul>				
注意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業時数の4分の3以上出席しない者は単位を取得することができません。</li> <li>・講習中は指導員の指示に従い、身勝手な行動は絶対に取らないようにして下さい。</li> <li>・スノーボード滑走中は必ずヘルメット、ゴーグル等を着用して下さい。</li> <li>・身勝手な行動等を起こし他人に迷惑をかけるような者は単位取得を認めません。</li> </ul>				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	50%	最終日に実施する実技試験において評価します		
	小テスト	%			
	レポート	%			
	成果発表 (口頭・実技)	50%	実習中に行われる課題によって評価します		
	平常点	%			
<b>授業計画（1回～15回）</b>					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	オリエンテーション	スノーボードについての注意事項、実習行程を理解します			
2回	雪山事故について	雪山で起こりうる、事故やケガなどを理解します			
3回	スノーボード用具について	用具の取り扱い、装着方法を理解します			
4回	ストレートストップ	バック・フロントサイドにおいて斜面に垂直で安定したポジションが取れ、スムーズなテール動作からの停止をすることができます			
5回	ベンジュラム	スムーズなウェイトシフトをすることができます			
6回	ストレートストローク	上下動中であっても、スノーボードに対して垂直なポジションをとることができます			
7回	連続ターン	連続ターンをしながら指定されたエリアで確実な停止をすることができます			
8回	ショートターン	リズムよくテールを動かすことによってターンをコントロールすることができます			
9回	ストレートホップ	滑走面全体での安定した着地をすることができます			
10回	カービングターン	ホールド状態を維持することができます			
11回	グライディング（ショート・ミドル）	センターポジションをターン後半まで意識し、谷回りから後半までスライドによるターンコントロールをすることができます			
12回	フォワード&バックワード	バックワード時にスノーボードが極力フォールラインに沿った滑りをすることができます			
13回	グライディングショート	ターン前半部でのホールドからターン中盤からのスライド操作をすることができます			
14回	グライディングミドル	谷回りでのスライド、山周りでホールド操作によるターンをすることができる			
15回	バジテスト	自分のレベルに合った級を受けることによって、現在の技術レベルを確認することができます			